

Challenge Tokyo Para 42.195km in 立川 報告書

大会名： Challenge Tokyo Para 42.195km in 立川

日時： 2021年 3月 7日

結果： 1位 (1:30:40)

先日、東京の立川駐屯地で行われた、東京パラマラソン最終選考レースに出場してきました。

本来でしたら昨年11月の大分マラソンが最終選考レースとなるはずでしたが、コロナにより選考レースが減少したため、救済措置として急遽開催されました。

コースは、立川駐屯地内の2.56km×16周+1.17kmのフラットコースとなっています。

目標としては1時間22分23秒を突破すれば1名、1時間20分59秒を突破すれば2名が東京パラリンピックへの切符をゲットできることになります。

結果は、目標タイムへは遠く及ばず1時間30分40秒でした。

当初、車やバイクでの先導があると聞いていたのですが、当日は、そういったものがなく、さらに風も強く、タイムを出すにはとても厳しい状況でした。

車いすマラソンは、先導車の風除け効果が大きく、その先導車をゲットするかしないかで、結果が大きく変わってきます。

それも、車いすマラソンの醍醐味というか、テクニックの一つでもあります。

目標とするタイムが、2周目のラップタイムで、かなり厳しいことが分かりました。

目標タイムに遅れている状況にもかかわらず、先頭集団は4人に絞られてしまいました。

積極的に先頭交代を行い、ペースアップを図りましたが、なかなかペースが上がらず、ハーフポイントでは、先頭集団は3名に絞られてしまいました。

特にペースが上がることもなく、レースは進み、そのままゴールスプリント勝負となり、最後は、吉田(竜)選手を振り切り優勝することができました。

優勝することはできましたが、この大会の最大の目的は、目標タイムを突破しての優勝でしたので、とても残念です。

しかし、目標を突破することは出来ませんでした。が、昨年の大分マラソン同様、調子は上がってきています。

昨年4月から取り組んできた、フォーム矯正、グローブの改良、ポジション変更、それに一昨年の大分国際での肋骨骨折によるトレーニング内容の見直し、そういったことが実を結んできたのかなと思います。

東京パラリンピックへの、マラソンでの出場権獲得はなりませんでしたが、5000mで出場権を獲得できれば、マラソンにも出場できるので、今後は、そこを目指して、決して諦めることなく挑戦していきたいと思います。

今大会も多くのご声援本当にありがとうございました。

次レースは、4月24・25日香川県高松市で行われるジャパンパラリンピック(1500m、5000mに出場)です。5000mで一昨年の世界選手権決勝タイム(約10分30秒)を超えて、かつ2位入ることが出来れば、東京パラ出場権獲得に大きく近づきます。

ニュースでは、東京オリンピック・パラリンピック開催の是非が問われていますが、どういう結末になろうとも、ブレることなくベストを尽くしていきたいと思います。

引き続き応援のほど宜しくお願い致します。

結果

1位 洞ノ上 1:30:40
2位 吉田 (竜) 1:30:42
3位 副島 1:30:55
4位 西田 1:35:27
5位 吉田 (高) 1:37:40
6位 山本 1:38:45
7位 武村 1:44:05
DNF 樋口・渡辺

レース動画↓

見どころは、スタート直後ハイペースでの集団形成の難しさ、先頭交代を行うローテーションといった感じでしょうか、車いすマラソンのスピード感や駆け引きが伝われば嬉しいです。

[車いすマラソン 2021 スペシャルレース WPA 公認「Challenge Tokyo Para 42.195km in 立川」 - YouTube](#)



スタート直後の隊列。前の選手を風除けに使い、先頭交代を行いつつレースを進めていきます。